対象年度		令和 7年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		本場結城紬振興事業						予算事業名		本場結城紬振興事業費			
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	伝統工芸本場結城紬技術習得奨励金補助金 交付要項（単年度要項）				
			07	01	03	1103	経常経費						
総合計画体系	歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう 地域資源を活用したにぎわいと交流の促進 伝統産業の振興						事業の区分	主要事業 重点事業 商工観光課 商工振興係					
							担当課係等						
	事業期間						継続（ 年度～ 年度）						
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
本場結城紬振興を目的に、本市の地域資源である「結城紬」を活用し、きもの文化及び結城紬の普及促進を図り、観光施策と結び付け、結城紬産地全体として活性化を図る。							生活様式の変化などの影響により、結城紬の生産数は減少し続けている。平成27年度より結城紬きもの貸出事業を開始した。栃木県小山市でも平成28年度より駅前クラフト館にて同事業を実施している。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
①観光物産センター・伝統工芸館にて結城紬の地機織り等の実演をする。 実演で作成した反物を着物に仕立て、着付け体験や貸出を実施する。 ②各種イベントにおいて、結城紬や本市のPRを行う。 ③結城紬各団体等に対し、支援を行うことで、製品の販路開拓及び産地の安定を図る。 ④現在においても①の着物が多くなり、また、これからも毎年4枚の着物が製作されることから、結城紬の利活用向上のため、古くなった着物や貸出頻度の低い着物のリメイクを実施する。 ⑤①の着物の管理保管用箆筒の購入。							市民・観光客 結城紬関連組合						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							平成27年度に結城紬きもの貸出事業が本格的に実施され、ゆうき紬着付け処「着楽」を駅前情報センターテナントに設置した。 平成28年度には、地方創生加速化交付金を活用した結城紬ブランディング事業により、結城市伝統工芸館をリニューアルし、結城紬を地域資源として活用した事業を展開した。						
【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】				【令和 9年度 事業内容】						
①結城紬機織り実演事業、結城紬きもの等活用事業 ②結城紬PR事業（各種イベント参加等） ③結城紬各団体等の活動への補助金交付 ④貸出用きものリメイク費用（10万円/着・5着） ⑤結城紬保管用桐タンス購入			①結城紬機織り実演事業、結城紬きもの等活用事業 ②結城紬PR事業（各種イベント参加等） ③結城紬各団体等の活動への補助金交付 ④貸出用きものリメイク費用（10万円/着・5着）				①結城紬機織り実演事業、結城紬きもの等活用事業 ②結城紬PR事業（各種イベント参加等） ③結城紬各団体等の活動への補助金交付 ④貸出用きものリメイク費用（10万円/着・5着）						
■事業費													
			R05年度	R06年度									
財源内訳	国庫支出金		0	0									
	県支出金		0	0									
	地方債		0	0									
	その他の		5,000	5,000									
	一般財源		10,353	13,667									
歳入計（千円）			15,353	18,667									
歳出内訳	節（番号＋名称）		金額（千円）	金額（千円）									
	07	報償費	110	151									
	10	需用費	130	117									
	11	役務費	564	829									
	12	委託料	3,719	4,291									
	13	使用料及び賃借料	0	40									
	14	工事請負費	550	0									
	15	原材料費	568	687									
	18	負担金補助及び交付金	4,712	7,552									
	20	貸付金	5,000	5,000									
	歳出計（千円）（A）			15,353	18,667								
伸び率（％）				21.58									
備考	総合計画93ページ 予算書139～140ページ												

令和 5年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単位		R05年度	R06年度	R07年度
活動 指標	結城紬機織り実演日数	日	目標	421.00	420.00	420.00
	観光物産センター及び結城市伝統工芸館		実績	419.00	0.00	0.00
	結城紬きもの貸出件数	枚	目標	180.00	180.00	180.00
	貸出事業の実施件数		実績	202.00	0.00	0.00
成果 指標	結城市伝統工芸館来館者数	人	目標	2,200.00	1,500.00	1,500.00
			実績	1,016.00	0.00	0.00
	補助団体数	件	目標	6.00	6.00	6.00
			実績	6.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	当市を代表する地域資源である結城紬の振興のために必要な事業である
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	世界に認められる伝統工芸品である結城紬の振興を行政が実施することは、妥当である
	手段の妥当性	A 妥当である	機織り実演やきもの貸出事業によりPRを関連団体に委託、関連団体への補助金交付による支援は打倒である
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	産業全体が減退しており、事業の成果が出にくいいため、効率性については、どちらとも言えない
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	結城紬振興は観光事業とも関連するため、間接的には一般市民にも影響があるが、補助対象事業者は限定されているため、受益者の偏りについては、どちらとも言えない
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	事業の成果は確認しにくいですが、着物イベントの入込客数が横ばいであること、各団体への補助金が実績報告により有効な活用が確認できていることから、事業の成果は上がっている
進捗度	事業の進捗	A 順調である	補助金は例年満額請求されており、貸出事業を含む結城紬に関する問合せも体感として増えていること、生産反数が微減にとどまっていることから、事業の進捗は順調である

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

事業全体として、着物文化衰退や従事者減少など厳しい状況である中で、生産反数が微減であることを踏まえると一定レベルの評価はできる。
課題はすぐに解決できるものばかりではないため、継続的な支援と関連団体との更なる連携が求められる。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

従事者数や生産反数などの現状を鑑み、結城紬産業全体へのテコ入れが必要であると思われる。行政と関連団体の連携を強化し、より効果的な事業の推進に努める。
本場結城紬卸商協同組合と茨城県本場結城紬織物協同組合は、独自に実行委員会を組織し、国の補助金を活用しているが、事務手続き等において、市の支援が不可欠であるため、自走に向けての支援を継続する。

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

方向性の具体的内容

従業員不足による生産反数の減少は顕著である。また、生活習慣の変化による需要の減少も要因の一つでもある。しかしながら、後継者不足を解消し、結城紬産業の衰退を食い止めるためにも、行政と関連団体の連携を強化し、より効果的な事業にブラッシュアップする必要がある。

2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策））

拡充（人・モノ・カネ等の拡充） 改善改革しながら継続 現状のまま継続（改善・改革なし） 統合・新規事業への展開
 縮小 休止 廃止・終了 予定どおりの要求 一部改善の上要求 今回は見送り その他の処置

企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入）

上記評価のとおり